

公 民(現代社会)

履修単位	4単位	学年	3年	学科・コース	商業科	区分	必修・選択
------	-----	----	----	--------	-----	----	-------

1 学習内容と学習目標

皆さんは来年高校を卒業し社会に旅立ちます。この授業では現代社会と、そこで生きる人間についての基本的な理解を深めます。また学習を通して、様々な問題について主体的に考え公正に判断する力や、自分の生き方や在り方について考える力を養うことを目標とします。

2 教材等

教科書：最新 現代社会 新訂版（実教出版）
 副教材：最新 現代社会演習ノート 新訂版（実教出版）
 新編 テーマ別 資料 現代社会 2021（東京法令出版株式会社）

3 年間学習計画

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 特記事項や他の 科目等との関連	種 別
一 学 期	第1部 わたしたちの生 きる社会 第1章 地球環境問題 第2章 資源・エネルギー問題 第3章 生命科学と情報 技術の課題	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題の現状について把握し、これらの問題は自分たちにとって身近な問題であることに気づこう。 ・資源・エネルギーの利用において国家間の利害が衝突している現状を認識しよう。とくにエネルギー問題にあつては、国内の情勢だけでなく国際的な動向にも注目し、原子力や再生可能エネルギーによる発電がどうあるべきか考察しよう。 ・人類の福祉という観点から、科学技術はどのように利用されるべきかを考察しよう。 ・情報化社会における課題を踏まえたうえで、情報化社会に生きるためのモラルやルールについて、どのような規制や法整備によって調整をおこなっていくべきか考えよう。 	地歴科の学習と関連 します。	中 間 考 査
		5	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義と自己形成の課題について考察し、青年としての生き方を自覚しよう。 ・倫理や自分の進路と関連させて考えよう。 		
		6	<ul style="list-style-type: none"> ・先哲の思想や宗教の意義に触れ、人間としていかに生きていくべきかを考えよう。 ・現代社会で「正義」「公正」「幸福」はいかにすれば達成されるのか、さまざまな思想家の主張を比較・考察しよう。 ・世界の主な国の政治体制を比較しよう。 ・日本国憲法の基本原則と政治機構、民主政治における世論形成などを理解し、民主社会における主体的な生き方を考えよう。 		
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・議会議民主主義と権力分立の意義や運用方法などについて理解しよう。 ・民主政治では、国家の行為に対して最終的には国民自らが責任をもつことを理解しよう。 ・法に関する基本的考え方を身に付けよう。 			
二 学 期	第2章 人間としてよく生きる 第3章 日本人としての自覚 2 現代の民主政治と 日本国憲法 第1章 現代国家と民主政治 第2章 日本国憲法の基本的性格 第3章 日本の政治機構と政治 参加	9	<ul style="list-style-type: none"> ・先哲の思想や宗教の意義に触れ、人間としていかに生きていくべきかを考えよう。 ・現代社会で「正義」「公正」「幸福」はいかにすれば達成されるのか、さまざまな思想家の主張を比較・考察しよう。 ・世界の主な国の政治体制を比較しよう。 ・日本国憲法の基本原則と政治機構、民主政治における世論形成などを理解し、民主社会における主体的な生き方を考えよう。 	地歴科の学習と関連 します。	中 間 考 査
		10	<ul style="list-style-type: none"> ・議会議民主主義と権力分立の意義や運用方法などについて理解しよう。 ・民主政治では、国家の行為に対して最終的には国民自らが責任をもつことを理解しよう。 ・法に関する基本的考え方を身に付けよう。 		
		11	<ul style="list-style-type: none"> ・議会議民主主義と権力分立の意義や運用方法などについて理解しよう。 ・民主政治では、国家の行為に対して最終的には国民自らが責任をもつことを理解しよう。 ・法に関する基本的考え方を身に付けよう。 		

三 学 期	3 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会 第2章 日本経済の特質と国民生活	12	<ul style="list-style-type: none"> ・経済社会について、様々な角度から理解を深め、個人や企業の経済活動における社会的責任について考察し、金融の役割や金融政策の目的と手段についても理解しよう。 ・近い将来、社会に出て労働者になることの自覚のもと、労働環境に関する問題や、望ましい労働法制のあり方を考えよう。また、医療・介護・年金等、保険制度の現状と課題を理解しよう。 	地歴科の学習と関連します。	卒業 考 査
	4 国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向 第2章 国際経済の動向と国際協力	1	<ul style="list-style-type: none"> ・主権や国際政治、国際経済などの諸問題を理解し、国際社会における日本の役割や日本人の生き方を考えよう。 ・国際政治は国連を中心として、国際経済は貿易や為替を中心として身近な問題として考えよう。 	地歴科の学習と関連します。	卒業 考 査

《課題・提出物等》	
<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査，期末考査前後に，板書事項を確実に記入した授業ノートの提出。 ・各考査後の訂正ノートの提出。 ・適宜（各単元終了時など）配布する課題プリントの提出。 ・長期休業中（夏休み，冬休み）課題の提出。 	
《評価方法》	
<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査，期末考査の成績 ・授業ノート，訂正ノート等の提出状況 ・課題等の提出物，学習態度 	
《年間の学習状況の評価方法》	
学習状況は，後に示す4観点から評価した1学期の成績，2学期の成績，3学期の成績を総合的に判断し，年間の学習成績として評価します。	

4 評価の観点と評価方法

学習状況は，「関心・意欲・態度」，「思考・判断・表現」，「資料活用の技能・表現」及び「知識・理解」の4つの観点から評価します。具体的な評価基準は下の表を参考にしてください。

評 価 の 観 点 と 趣 旨		評 価 方 法
関心・意欲・態度	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追求すると共に人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしているか。	学習活動への参加状況及び態度，授業ノート，課題プリント，考査
思考・判断・表現	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし，広い視野に立って社会の変化や様々な考え方をふまえ公正に判断しているか。	学習活動への参加状況及び態度，授業ノート，課題プリント，考査
資料活用の技能・表現	諸資料を収集し，有用な情報を主体的に選択して活用すると共に追求し考察した過程や結果を適切に表現できているか。	学習活動への参加状況及び態度，授業ノート，課題プリント，考査
知識・理解	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けているか。	学習活動への参加状況及び態度，授業ノート，課題プリント，考査

5 授業を受ける際の注意事項

日常生活でインプットした情報を，授業の内容と関連付けよう。教師の発問に対しても積極的に考え，一言の“つぶやき”でも，アウトプットする習慣を付けていこう。